



白浜保育所入所式（平成23年4月6日）

3 月

定 例 会

平成23年1月31日及び2月14日に臨時会が開催され、市長提出の議案4件、すべて可決されました。

3月定例会は、3月8日に開会し、18日間の会期で3月25日に閉会しました。

この定例会において、市長提出の予算案25件、条例案14件、その他2件、計41件、議会から条例案1件、請願3件、意見書案等3件、計7件、合計48件が上程されました。その内、請願3件が不採択、その他の案件については、原案のとおり可決されました。

また、継続審査となっていた請願第8号は不採択、議案第92号は理事者から議案の修正があり、修正後の議案で可決されました。

一般質問

今定例会では、10人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をいただきました。その主な質問、答弁の要旨を掲載いたします。

部長制の導入

問 多くの市民の方から、人口の減り続ける当市に、なぜ部長制が必要なのかとの声を聞く。

答 当市では、民間委託、指定管理者制度の導入、特別職の報酬カット等を行っており、また各課においても、経費の削減が実行されている。今なぜ行政組織の拡大と経費の増加につながる部長制を導入するのか、伺いたい。

まず、その一つは、意思決定をするための組織上のシステムが整っていない。そして、決定した事項を、確実に伝達し、迅速に執行する体制が整っていないということがある。

また、課の上部組織がないことから、課内レベルあるいは単

に担当者レベルの判断が、チェックされないまま、トップレベルまで登ってきて、場合によっては、誤った意思決定が起こりかねない状況となっている。

さらに、担当課以外からも、行政課題について、より広く情報を拾い上げることが必要であるが、そのようなシステムとなっていない。

このような問題点の解消を図るため、今回、部長制の提案をしたものであり、全体として、的確な事業の執行を図ることに、行政経費の節約につながるものであると考えている。

また、部長制の導入によって、政策課題への迅速な対応が図られるとともに、課長をはじめ職員員の意識改革につながるものと考えている。

問 部長制導入により、人件費はどの程度増加するのか。また、市長の選挙公約に逆行するのではないか。

答 現在の課長級24名体制から、部長制導入による部

長級3名、課長級22名体制とした場合の人件費について、給料、管理職手当、期末勤勉手当、共済費等を合計して年間約120万円前後の増額になるものと見込んでいる。

なお、部長制の導入を含めた人件費全体では、平成23年度予算ベースで退職金を除き、退職者の不補充等により22年度と比較して、約4900万円の減少を見込んでいる。



人口減少と超高齢社会

問 国よりも早く進む人口減少、高齢社会など当市の現状を考えると、行政の効率化、スリム化は避けられないと思うが、いかがか。

答 将来的に、大幅な人口減少が見込まれる中では、行政も当然、効率化、スリム化をすべきであると考えている。

今回、行政改革の一環として、部長制の導入を提案している

が、市役所が、課題発見、解決実行型の組織に生まれ変わるこそが、効率化にもつながるものではないかと考えている。

職員数の削減については、今後も全体の必要数を見定めながら、採用の抑制あるいは民営化の導入について、積極的に検討を進めていきたい。

また、先般、中村知事の提唱により開催された「愛媛県・市町連携政策会議」においても、県と市町がこれまで以上に連携・一体化して効果的・効率的に業務を実施することにより、二重行政の解消に努め、行政コストの縮減を図っていくことになつていく。

問 行政の効率化・スリム化を図ると同時に、財源に左右されにくい八幡浜市独自の政策を立案・遂行できる創造力がある行政体制を作り上げることが必要ではないか。

答 これからの人口減少・超高齢社会においては、地域の活力をどう維持・確保していくかが、大きな課題であると考えている。

具体的には、超高齢社会を見据えた医療、介護及び年金など社会保障の充実、そして住民相互に助け合って生活するような地域社会を作っていく必要がある。

3月定例会日程

3月8日(火)	本会議 議案の上程 提案理由の説明
3月14日(月)	本会議 一般質問(5名)
3月15日(火)	本会議 一般質問(5名)
3月16日(水)	本会議 議案に対する質疑 委員会付託
3月18日(金)	委員会 議会運営委員会 総務委員会 民生文教委員会 産業建設委員会
3月25日(金)	本会議 委員長報告 討論・採決

たとえば、高齢者等見守りネットワーク事業のように、ボランティアに近い方たちが主となり、地域内でお互いに支えあうことが、今後のひとつの形ではないかと感じている。

また、それを担う人作りについても、第2次行政改革大綱において、「NPOの育成と協働」、「職員の人材育成」等を掲げ、

一般質問者と質問事項

質問者	質問事項
岩田功次	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所職員の人事評価・組織改革・部長制度導入・職員教育について ・平成29年の愛媛国体の準備状況について ・国道378号線の安全について ・新しいヘリポート付、病院の建設の提案 ・今、環境の時代に、市政を行ううえで生物の多様性と生態系保全に対する考えを聞きたい ・民設民営・港の開発の企画コンペ・審査状況について
上田浩志	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市水道ビジョンについて ・八幡浜港・港湾ビジョンについて ・八幡浜市補助金等検討委員会設置について
宮本明裕	<ul style="list-style-type: none"> ・加戸守行（前愛媛県知事）の名誉市民の推薦について ・行政コスト削減時代におけるの部長制の復活について ・親子の職員採用について ・振興ビジョンの進捗状況について
新宮康史	<ul style="list-style-type: none"> ・市立八幡浜総合病院の診療体制について ・市政に於ける情報開示と約束事の履行について ・民生委員の今後の問題と独居高齢者のセーフティネット構築について
宇都宮富夫	<ul style="list-style-type: none"> ・非正規職員の処遇改善について ・市立病院建設整備方針について ・監査機能の強化について ・部長制導入について
遠藤素子	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の政治姿勢について ・港湾ビジョンの進捗状況について ・住宅リフォーム助成制度の導入について ・元火葬場跡に共同墓地を ・原発及びプルサーマルに関する諸問題について
兵頭孝健	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・超高齢社会における行政のあり方と取り組みについて
清水正治	<ul style="list-style-type: none"> ・公有地の取り扱いについて ・市営住宅について
井上和浩	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会への不安と課題について
大山政司	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市「がいな大賞」の創設について ・委員会等、付属機関の答申について ・市立八幡浜総合病院改革プランについて

※一般質問の詳細な内容は、会議録及び市議会ホームページでご覧になれます。

補助金等検討委員会

市独自の政策を立案遂行できる職員と地域社会を担う人材作りを力を入れているところであるので、今後、地域内で助け合っで生活できる仕組みを市役所内はもとより、地域社会においても構築できるように努めていきたい。

問 補助金等検討委員会で、団体運営補助金21件が審査され、その内18件が減額、見直しとされた。

答 補助金の予算化には、担当窓口で充分調査検討し、財政当局の審査、最終的にはトップの判断で予算化、議会の承認を得る仕組みになっている。今回の厳しくともとれる検討委員会の審査結果により、見直し、減額、廃止に繋がる可能性もあり、考え方によっては行政の後退になるのではないかとの声も聞くが、所見を伺いたい。

今回の結果、増額が1件、減額が16件、同額が4件となっている。補助金等は、行政目的を効果的かつ効率的に達成するため、重要な役割を果たしてきたが、継続して交付されるにつれ既得権化され、交付された団体は補助金等への依存度を強め、自助努力で運営を行う姿勢が希薄化する傾向が見受けられるのも事実である。

して行政の後退を招くものとは考えていない。ただし、ボランティアとして収入のあてのない中で、少額の補助金により、その必要な社会的役割を果たしておられる団体については、十分配慮することも必要だと考えている。

監査機能の強化

問 当市の監査体制、監査の実施現状について、伺いたい。また、監査権限に対応した事

答 当市の監査体制は、監査委員2名、事務局3名の計5名体制となっている。監査実施の状況は、毎月行っている例月現金出納検査、全部署を対象に行っている定期監査、一般会計・企業会計等の決算審査意見書、その他財政援助団体等監査を毎年3団体ほど行っている。事務局体制の拡充については、現在局長以下3名で、業務を行っているが、職員数が減少する中、市全体の職員配置のこともあり、人員の拡充を望む状況ではないと考えている。

港湾振興ビジョン

問 港湾振興ビジョンについて、飲食、産直、物産販売施設など民営施設の整備等に関する業者を募集しているが、現在の進捗状況について、伺いたい。

監査機能の強化については、愛媛県都市監査委員協議会等の事務研修会への参加を通じ、監査業務の研鑽・情報交換を行うことにより、監査機能のさらなる強化につなげていきたい。

答

民営施設に関連するコンペについて、3件の応募があった。現在、外部有識者2名を含む6名で構成する八幡浜地域交流拠点施設等整備運営事業提案審査委員会にて、提案内容について審査中であり、審査委員会の取りまとめが終われば市長へ報告いただくことになっている。

問

審査委員会の審査について、なぜ公開審査としなかったのか。

答

当コンペについては、市民の関心が高いことを踏まえ、市としても、可能であれば公開審査にしたいとの考えを持っていた。

このため、実際にコンペの場合において説明される提案者、その意向を確認したところ、会計内容、資金調達手段などの企業秘密や知的財産の保護の観点から、参加者から同意をいただくことができなかったため、今回は非公開となった。

ゴミ袋の料金

問

理事者より、ゴミ袋値上げ幅についての修正案が出されたが、その根拠について、伺いたい。

答

ゴミ袋料金、減額の根拠について、議会閉会中に開催された民生文教委員会での指摘・要望、そして市民からの直接、間接的なご意見を考慮し、市民の負担を緩和するため、ゴミ袋の料金を合併前の料金にすることが適切であると判断した。



高齢者の働きの場

問

厚生年金の受給開始年齢が65才まで段階的に引き上げられたことで、すでに民間では9割以上の企業が60才以上の雇用延長を行っている。当市では、地域産業全般の状況の関係もあり、現状は厳しいものがあると推測できるが、行政主導で、高齢者も働ける環境、60才以降の年金受給までに必要な雇用の場作りを、積極的に考えてみる必要があるのではないかと。超高齢社会を迎えるにあたり、年金支給開始年齢まで、意欲を持って働ける環境をつくることは大変重要なことであり、国においては、高齢

者雇用確保措置の実施が義務化されているところである。

厚生労働省愛媛労働局あるいは社団法人「愛媛県高齢・障害者雇用支援協会」においては、事業主を対象とした雇用継続制度の導入に関する相談や、高齢者の雇用開発に対する特別奨励金の支給等が行われている。当市も、関係機関との連携を図りながら、事業所等のご理解とご協力が得られるよう努めていきたい。

独居高齢者のセーフティネット

問

独居高齢者の安心、安全の確保について、現在の当市の災害時要援護者登録台帳の進捗状況について、伺いたい。また現在の情報技術を駆使し、安否の確認や健康管理が確認できるシステムを構築することが必要だと思いが、高齢者緊急通報システム事業の運用状況と今後の方針について、伺いたい。

答

現在、災害時援護希望申請に基づき台帳を調整している。具体的には、3月9日現在、369件の申込の内、69件の台帳を作成している。残り300件についても、現在、民生委員

と自主防災会に支援者の決定について協力を依頼しており、5月には台帳を整備し、個人情報保護に配慮した上で、民生委員、自主防災会、消防署等と情報を共有したいと考えている。

市では、日常生活の中で、体調に不安を持つ一人住まいの高齢者等が、いざという時に適切な救援体制を整え、安全を確保することを目的に、高齢者緊急通報システム事業を実施している。緊急時には、対象者が、緊急通報システム用機器により受診センターへ通報し、受診センターは対象者からの通報を受診したときは事態の確認を行い、消防署及び協力員等への連絡・適切な対応を行うというものである。

この高齢者緊急通報システム事業については、現在委託している3業者以外にも、外出時に位置確認と緊急通報できるサービスを行っている業者があるので、再度対象業者の調査を行い、今後もより良いサービスの提供をおこなっていきたい。

住宅リフォーム助成制度

問

住宅リフォーム助成制度の導入について、この制度は、住宅のリフォームに際して、地方自治体が一定額の助成をするもので、中小業者の仕事起しや、雇用拡大に効果があるとして、いま全国的に広がり、2月末時点で175の自治体で実施されている。

答

12月議会にこのことを提案したが、その後、情報の収集や検討は進んでいるのか、伺いたい。住宅リフォーム助成制度は、全国的に様々な実施方法で導入しているようであり、全てのリフォームを対象にしたり、限定的なリフォームに適用したり、色々工夫しているようである。

議員提案の全てのリフォームを対象とし、それに対し税金を使って補助すべき必要性があるかどうか。仮に建設業界に経済的なメリットがあるにしても、なお慎重に考えるべきものと思っている。

当市としては、南海地震がこの30年以内に発生する確率が高いと聞き及んでいるので、住宅そのものの質の向上を図ることが先決と考え、国の「住宅・建





愛宕山団地

建築物安全ストック形成事業」における耐震改修工事助成制度導入について検討したい。

分譲団地の現状

問 市内の3分譲団地(元城団地、愛宕山団地、夢永団地)の現状について、伺いたい。

答 この件については、土地開発公社で取り扱っているため、現時点において公表可能な限りの状況を述べさせていただきます。

まず、各団地の分譲状況であるが、元城団地が分譲予定総区画数42区画で残り12区画、愛宕山団地が27区画中、残り14区画、夢永団地が9区画中、残り5区画となっている。

平成22年度の実績については、夢永団地1区画のみである。

る。

今後の分譲促進については、昨年6月の土地開発公社理事会上において元城団地、愛宕山団地、夢永団地、全ての団地の分譲価格見直し実施の決定をし、現在、値下げに向けた見直し作業を行っているところである。

民生委員

問 民生委員は、これからの高齢化社会で、大変重要な役割を担うわけであり、確実にその地域の実情を熟知された方に引き継ぐ必要がある。後任の育成は地域だけでできる問題ではないと思うが、市は、この点について、どのように考え、支援、指導をするつもりか、伺いたい。

答 民生委員の選任要綱では、社会奉仕の精神に富み、人格見識が高く、生活経験が豊富でその地域の実情をよく知っている者などが適任者となっている。

このような適任者は、地域のさまざまな社会福祉活動やボランティア活動などの日頃からの地域での活動を通して適任者が育成され、人選されるものである。

市としても、次期後任の民生

委員さんが育ち易いよう、地域での社会福祉活動や諸事業の活性化に向けて、積極的に助成を行うとともに、民生委員さんの業務が理解され、地域と一体となった活動がスムーズにできるよう啓発していきたい。

また、民生委員として委嘱された委員の方に対しては、愛媛県主催の各種研修会をはじめ、市民生児童委員協議会独自の研修会の開催など、研修機会の確保に努め、民生委員としての知識や資質の向上を図っていきたい。

八幡浜がいな大賞

問 昨年10月17日に茨城県で開催された「第10回高校生ものづくりコンテスト全国大会」測量の部で八幡浜工業高校チームが初優勝した。

八幡浜市民が、様々な分野で幅広い活動等を行い、日本一あるいはそれに準ずる功績があった場合、現在の市政功労者表彰規程だけでは、その労をねぎらい、広く市民に周知することはできない。

そこで、「八幡浜がいな大賞」あるいは「やったぜ、浜、みかん大賞」を創設し、表彰することで、元氣・八幡浜の一助にな

るのではないかとと思うが、いかがか。

答 議員指摘のとおり、市政の功労者に対する表彰規程はあるが、日本一あるいはそれに準ずる功績のあった者に対する具体的な表彰規程がないこともあり、八幡浜工業高校生徒の快挙に際し、市として表彰することが適わなかったことは誠に残念である。

ただ、この件については、昨年11月、八幡浜市文化協会主催、保内文化のつどいにおいて、文化振興表彰の優秀功労賞部門で、表彰されたところである。

県内では、宇和島市においては、「宇和島大賞」、西予市、「キラリ西予大賞」、大洲市、「きらめき大賞」、松山市では、「かがやき松山大賞」などが設けられており、全国大会での優勝若しくはこれに相当する成績をおさ

めたもの、広く市民に希望・感動を与えたもの等に顕彰を行っている。

八幡浜市の名を全国区に押し上げるためにも、市の名声を高め、市民に夢と希望を与え、郷土の誇りとして、社会の活力高揚に貢献された方への顕彰は、今後必要になってくるものと考えられる。

顕彰制度導入自治体の実態等を踏まえながら、既存の表彰制度も併せて見直す中で、「がいな大賞」(仮称)の創設について、今後検討をしていきたい。

議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議は、事前の申し込みの必要はなく、傍聴することができます。

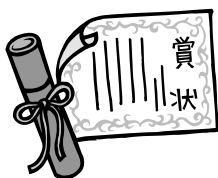
傍聴席は、八幡浜庁舎7階にあり、52席用意しています。

傍聴席入口に、受付簿を置いていますので、氏名、住所を記入の上、傍聴してください。

会議の内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市民図書館、各地区公民館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページでもご覧になれます。



委員会のしごき

今定例会に提出され、3常任委員会等に付託された案件42件及び継続審査となっていました議案第92号の審査が行われました。その主な内容は次のとおりです。

総務委員会

▼(一般会計)企画費、やわたはま婚活サポート事業補助金について

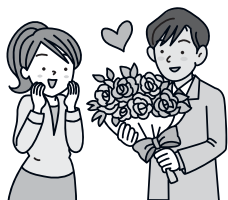
問 この事業は、平成23年度の新規事業であるが、婚活サポート事業への補助金というところで、具体的にどのような取組みをするのか。また、たとえば婚活の世話をしたいというグループは、どのような申請を行えばいいのか。

答 この事業は、市が主体になつて取り組むということではないが、いろいろな団体に積極的に婚活の場を設けていた。ただし、市としては、男性1000円、女性2000円を団体に対して助成する。助成をすることにより、より参加しやすい環境を、市として作っていく。それを呼び水として、今まで以上に、市内に婚活のサポートを

してみたいという団体が増えることも期待している。

グループとしての申請方法については、まず愛媛県が事業委託している「えひめ結婚支援センター」に応援企業として登録をしていただく。登録料は、無料である。

市としては、「えひめ結婚支援センター」が行う事業の応援企業に対して支援をしていく。



▼(一般会計)非常備消防費、職員退職報償費の関連

問 東北地方太平洋沖地震が起こり、今後、東南海・南海地震があるとされている。

地震、火事等の災害が起きると、消防団の力が非常に重要になってくる。

そこで、消防団について、現在では、消防団を退職された方の補充をしようとしても、補充できない状況であると聞か、当市の消防団員の充足率はどのようになっているのか。

答 当市の消防団員の充足率については、条例上はほぼ100%に近い数字になっている。

現在の団員数は714名であるが、分団長会では700名を切らないような方針を出している。

委員指摘のように、地域によつては、消防団を退団しても、若い方がいないということも補充できないという状況が出てきている。

その対応については、消防団を退団されたOB団員を、機能別消防団員として採用すること等を検討し、消防力の低下を招くことのないようにしたい。

民生文教委員会

▼八幡浜のまちをみんなできれいにする条例の制定について

問 このような条例は、市民がどれだけ注目して、取り組むのが課題である。今後どう実行性を持たせていくのか。

答 条例には、環境美化推進員を委嘱できることとなっている。

地区公民館単位で、ごみ問題等に関心を持っていらっしゃる方々に環境美化推進員になっていただき、地域をきれいにしていきたいという宣伝活動等をしてもらいたいと考えている。

また、現在、県や市の各課が別々に行っているパトロールについて、一体的に環境パトロールをしていく体制作りを行いたいと考えている。

▼(一般会計)事務局費、学校再編整備検討委員会委員報償金について

問 学校再編整備検討委員会への答申はいつ出す予定なのか。

答 学校再編整備検討委員会は、平成23年5月からスタートし、24年3月に答申を頂く予定である。途中、一般の方の意見も聞いて、答申を出していただき、それを受けて教育委員会の方で最終的な計画作りを行う予定である。

▼平成23年度 介護保険特別会計予算について

問 保険給付費が年々高くなっており、それに伴い介護給付費準備基金が年々少なくなっている。

今後の基金の見通しについて、どのように考えているのか。

答 介護保険は、国、県、市の負担割合が全て決まっている。介護給付費が増えるほど、施設が出来るほど、介護保険料が高くなるという制度になっている。

産業建設委員会

▼(一般会計)林業振興費、南予産材利用木造住宅建築促進事業費補助金について

問 1件あたりどれくらいの補助を見込んでいるか。

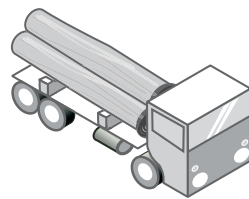
また、建築業者は、八幡浜市内の業者に限るのか。

答 補助金の額は、南予産の木材の使用量に応じて計算し、限度額については、一般の場合は50万円、八幡浜市土地開発公社あるいは八幡浜市の所有している土地についての分譲があった場合は100万円を予定している。また、建築する業者は八幡浜市内の業者に限定し

ている。

問 家を建てる場合、南予産の木材を全面的に使わなければならないのか。

答 補助対象は、南予産材を用いて、その体積が60%以上を使用し、床面積が66㎡以上の住宅である。



▼(一般会計)道路災害復旧工事費の関連

問 現在、東北地方が震災に遭われて、大変なことになっている。当市も急峻な地形で、危険な地域がたくさんあり、そういった危険な場所については、先に予防をするということも必要だと思いが、いかがか。

答 現在、愛媛県と共同して、土砂災害警戒区域、特別警戒区域の説明会を全市的に行っており、今後も説明会を実施していくが、まずは、ご自分の地域がどういう危険があるかということを知っていただき、避難体制の整備ということをして、危機管理担当と一緒にやって行っている。ハード対策ということになると、莫大な費用と時

間がかかるため、まず災害時には逃げていただくということを中心に行っていく。

行政視察報告

議会運営委員会が、1月19日、20日、行政視察を行いました。

▼視察先及び視察項目

- 大阪府和泉市
 - ・議会運営について
 - ・各種審議会等参画の見直しについて

○大阪府柏原市

- ・議会運営について
- ・議会報告会について



柏原市議会議場

●1月31日臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
議案第1号	八幡浜市光をそそぐ交付金基金条例の制定について	原案可決
第2号	平成22年度八幡浜市一般会計補正予算(第5号)	予算額 249,962千円

●2月14日臨時会 審議結果

番号	件名	審議結果
議案第3号	「八西地域情報基盤整備推進事業センター施設設備整備工事請負契約の締結について」の議決変更について	原案可決
第4号	「八西地域情報基盤整備推進事業伝送路幹線工事請負契約の締結について」の議決変更について	〃

●3月定例会 審議結果

番号	件名	審議結果
議案第92号	八幡浜市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
請願第8号	八幡浜市指定のゴミ袋値上げに反対する請願	不採択
報告第1号	専決処分の報告について(市営喜木町団地内に設置していたごみカゴ被害に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について)	報告
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のない旨答申
議案第5号	八幡浜市事務分掌条例の制定について	原案可決
第6号	外国の地方公共団体の機関等に派遣される八幡浜市職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第7号	八幡浜市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第8号	八幡浜市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第9号	八幡浜市報酬及び費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第10号	八幡浜市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第11号	八幡浜市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第12号	八幡浜市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第13号	八幡浜市病院建設基金条例の制定について	〃
第14号	八幡浜市立学校体育施設使用料条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第15号	八幡浜のまちをみんなできれいにする条例の制定について	〃
第16号	八幡浜市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	〃
第17号	八幡浜市生活道路整備事業分担金徴収条例の制定について	〃
第18号	八幡浜市営住宅条例及び八幡浜市改良住宅条例の一部を改正する条例の制定について	〃

番号	件名	審議結果
議案第19号	平成22年度八幡浜市一般会計補正予算(第6号)	予算額 +312,581千円 原案可決
第20号	八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	△17,136千円 //
第21号	八幡浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	△30,239千円 //
第22号	八幡浜市老人保健特別会計補正予算(第2号)	△893千円 //
第23号	八幡浜市介護保険特別会計補正予算(第4号)	△3,659千円 //
第24号	八幡浜市駐車場事業特別会計補正予算(第2号)	△4,182千円 //
第25号	八幡浜市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	財源組替 //
第26号	八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	繰越明許費 //
第27号	八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)	歳出振替 //
第28号	八幡浜市港湾整備事業特別会計補正予算(第2号)	+580千円 //
第29号	平成23年度八幡浜市一般会計予算	予算額 18,385,056千円 //
第30号	八幡浜市国民健康保険事業特別会計予算	5,807,326千円 //
第31号	八幡浜市後期高齢者医療特別会計予算	535,262千円 //
第32号	八幡浜市介護保険特別会計予算	3,659,822千円 //
第33号	八幡浜市介護サービス事業特別会計予算	35,447千円 //
第34号	八幡浜市日土財産区特別会計予算	786千円 //
第35号	八幡浜市駐車場事業特別会計予算	101,066千円 //
第36号	八幡浜市簡易水道事業特別会計予算	59,990千円 //
第37号	八幡浜市公共下水道事業特別会計予算	3,042,575千円 //
第38号	八幡浜市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算	144,737千円 //
第39号	八幡浜市小規模下水道事業特別会計予算	25,193千円 //
第40号	八幡浜市水産物地方卸売市場事業特別会計予算	36,315千円 //
第41号	八幡浜市港湾整備事業特別会計予算	68,960千円 //
第42号	八幡浜市水道事業会計予算	1,026,425千円 //
第43号	市立八幡浜総合病院事業会計予算	4,658,031千円 //
請願第10号	最低賃金時給1,000円の実現と中小企業支援策の拡充を求める請願書	不採択
第11号	2011年度年金引き下げ方針の撤回と無年金・低年金者への緊急措置、年金受給資格期間短縮を求める請願書	//
第12号	医療費の「一部負担金の減免等」が使える仕組みを求める請願書	//
議員提出第1号	八幡浜市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
第2号	環太平洋連携協定(TPP)に関する意見書の提出について	//
議長発議	所管事務調査について	//
議長発議	議員の派遣について	//

議会日誌(H22.12.22~H23.3.7)

◆委員会活動状況

- 1月13日 議会運営委員会開催
- 1月19日 議会運営委員会行政視察(大阪府和泉市・柏原市)(~20日)
- 1月31日 市議会協議会開催
- 2月9日 民生文教委員会開催
- 2月28日 議会運営委員会開催

◆庶務関係

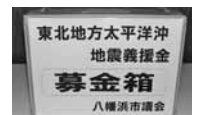
- 12月28日 議長及び総務委員会正副委員長が市内消防夜警に出席(~30日)
- 1月3日 正副議長及び各議員が成人式に出席
- 4日 議長が八幡浜青年会議所新年祝賀会に出席
- 1月5日 議長が新春消防査閲式に出席
- 1月21日 正副議長が大島分団消防夜警に出席
- 27日 山口県岩国市議会(1名)が行政視察来庁により正副議長が対応
- 2月1日 正副議長が第57回南予市議会議長会(本市開催)に出席
- 8日 議長が全国市議会議長会地方行政委員会に出席(東京都)(~9日)
- 2月16日 議長が広域行政圏市議会協議会第42回総会に出席(東京都)(~17日)
- 21日 議長が愛媛県過疎地域自立促進協議会定期総会に出席(松山市)

東北地方太平洋沖地震 義援金

東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当市議会では、4月8日に新町銀座角、新町ドーム前で街頭募金を行い、お預かりした義援金を、日本赤十字社に送りました。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

今回から、「議会だより」が2色刷りになりました。できるだけ読みやすい紙面にしたいと思います。ご意見等がございましたら、お聞かせ下さい。

議会事務局

TEL (代)22-3111 内線603

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。 [八幡浜市議会](#) [検索](#)